

IRB番号「2026-GB-068」

研究課題名「大腸切除術および人工肛門閉鎖術における筋膜閉鎖法に関する検討」

1. 研究の対象

2020年1月1日から2026年6月30日の間にがん研有明病院大腸外科で大腸切除術（開腹、腹腔鏡下、ロボット支援下を問わない）もしくは人工肛門閉鎖術を行った患者および人工肛門閉鎖術を受けられた方

2. 研究の目的・方法

大腸切除術（特に腹腔鏡下手術やロボット支援下手術といった低侵襲手術といわれる傷の小さい手術）や、一時的人工肛門を閉じる人工肛門閉鎖術といった手術では、小さく開けた創や人工肛門閉鎖の創に関して、腹壁癒着ヘルニアや創の感染といった合併症を低減させる最適な筋膜閉鎖・縫合法は決まっていません。本研究は大腸切除術および人工肛門閉鎖術における閉鎖時の筋膜閉鎖法の違いによる腹壁癒着ヘルニアや創感染といった創部関連合併症の差を検討することを目的として行います。

研究は後ろ向き観察研究といわれる、研究対象者の診療情報を電子カルテから取得し、統計という手法を用いて腹壁癒着ヘルニアなどの合併症がどのような原因で発生するかを検証します。

3. 研究期間

承認日 ～ 2029年12月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の情報につきましては、公益財団法人がん研究会医学系研究倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に加工処理を行った上で取り扱っています。

試料：なし

情報：病歴、手術情報、筋膜閉鎖方法、術後経過、術後CT検査などの画像検査

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 がん研究会 有明病院
〒135-8550 東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者 大腸外科 副医長 佐藤 健太郎
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141